



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和7年8月27日
学校だより 9月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子

電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



39日間にもおよぶ長い夏休みを終え、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきます。「今の年齢で迎える長期休みは一生に一度です。この時にこそできる経験を。」と休み前の朝会でみんなに話しました。それぞれに、充実した時を過ごし、さまざまな事柄とふれ合って、成長した姿に出会えることを楽しみにしております。

ニュースでも連日報じられておりますが、年々、暑さが厳しくなり、今年の夏も例外なく猛暑の夏となっております。体調管理も難しく、生活のリズムを取り戻すことにも少し時間がかかるかもしれません。少しずつペースを取り戻し、一段と充実した学校生活にできるよう、取り組んで参ります。引き続き、ご支援、よろしくお願いいたします。

明るい未来のために

学校長 高村 彰一

この夏もさまざまなニュースがありました。米の問題、万博など観光スポットの話題、連日の猛暑の様子など、いろいろな話題を耳にしました。

その中で、私が、一番気になったのは、「戦後80年となる今考える戦争と平和」に関するものでした。

毎年、8月は原爆のことや終戦など、戦争にかかわる話題が多くなります。とくに今年は、終戦から80年ということもあってか、これまで以上に戦争について考える番組や報道などがたくさんあり、戦争と平和について考える機会が例年以上に多くあったように感じました。



皆さんもご存じのように、今、世界では戦争状態にある国や地域、紛争が続いてしまっている地域など、残念ながら争いごとのニュースが絶えることがありません。我々が暮らしているこの国では、平和な生活を続けることができている。ニュースではふれることがあっても、実際に身近で起こっていないため、実感としてわからないという人がほとんどではないでしょうか。

ご承知のように、戦後80年が経過し、戦争の体験や戦後の厳しい生活を体験している人が、残念ながら年々少なくなってきています。また、それぞれの国で自分の国の利益を優先するような考え方が強まり、その国のリーダーとしてそのような考え方をもち人物が実権を握っている国が増えてきてしまっているようにさえ感じています。

そのような中で、戦争の経験を今現在に生きる「戦争を知らない世代」に伝えていこうという活動を進めてくださっている方々も多くいらっしゃいます。その方々の思いを受け、我々がまずできそうなこと。それは、身近な人とのかかわりを大切に築いていくことではないでしょうか。

身近なところからできる人とのかかわりの第一歩、挨拶です。「ありがとう」や「ごめんなさい」を自然に言い合える。そんな関係づくりこそ地道ではありますが、明るい未来を築いていくための大切な第一歩と捉え、これからの教育活動の中で、大切にしていきたいと改めて感じております。